

審判員派遣報告書

派遣事業名	第30回四国中学校バスケットボール黒潮新人大会	派遣期日	令和6年2月11日
報告者	高木泰良	派遣先	高知県高知市

1 大会概要

大会名称	第30回四国中学校バスケットボール黒潮新人大会	大会期間	令和6年2月11日～12日
大会概要	四国4県の男女各上位2チームが参加。新人戦の四国大会という位置づけである。		

2 担当試合 ※(試合内容は簡潔に書いてください)

日程	令和6年2月11日	会場	春野総合運動公園体育館
審判クルー	CC:竹内渡(高知) U1:松浦颯(高知) U2:高木泰良(香川)		
担当試合	八万(徳島1位) VS 雄新(愛媛2位)		
試合内容	八万が3Qで大きく点差を引き離しそのまま勝利した。		

日程	令和6年2月11日	会場	春野総合運動公園体育館
審判クルー	CC:和久翔一(高知) U1:松浦颯(高知) U2:高木泰良(香川)		
担当試合	久米(愛媛1位) VS 横浜(高知1位)		
試合内容	出だしは接戦になると思われたが、久米のDFに阻まれた横浜は得点を重ねられず久米の勝利となった。		

3 大会(研修会)を通して《学んだこと 感じたこと 県内審判に伝えたいこと 等》

・初めての県外

今回初めて県外に行かせていただき、分からない事ばかりで一番大変だったのは審判控え室にいるたくさんの審判さんの中から一緒に吹くクルーの方を探すことでした。私は人見知りの性格でなかなか自分から声をかけるのが苦手なのですがこれから活動していく中で各地に行く機会も増えると思うので克服していこうと感じました。

●PGCの重要性

試合前にさまざまな事象に対してプライマリエリアの確認しておくことで試合中にプライマリの意識をより持てるようになり、似たような事象が起こりそうになった時に見るべきものをしっかりと見れるようにもなった。PGCをすることでしない時との大きな違いは個々の課題を共有しておくことで、試合が終わった後に自分では気づけない事にも指摘していただけることだと思いました。

●学び

CCの方に選手の心理を考えて審判するとより良いゲームになると指導され、ただファールを吹いてレポートに行くのではなくファールを吹いて選手の表情や仕草などを見て今の笛に対して選手はどう思っているのか、選手の気持ちに寄り添った上で次の笛に繋げることが大切だと思います。

●その他

この度は、派遣に際してご理解とご支援いただいた香川県バスケットボール協会の皆様に心より感謝申し上げます。まだまだ未熟な審判で、県内の審判方にも指導してもらうことが多いですが、学んだことを活かされるよう日々精進して参りますのでこれからもどうぞご指導の程よろしく願いいたします。